

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	有機農業普及促進事業費	担当課	産業観光課
事業内容(簡潔に)	家畜排せつ物をリサイクルした堆肥の補助を通して有機農産物の生産拡大を目指す。		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	環境と調和した農林業の振興	
	施策	農林業の振興	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市有機農業普及促進補助要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	有機農産物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進するため、家畜排せつ物肥料を購入した者に対し補助金を交付する。
事業の手段	補助対象者の家畜排せつ物肥料の購入経費の4分の1（1,000円未満切捨）を補助金として交付する。購入農家から委任を受けた梨北農業協同組合長が一括で申請し、書類審査後、梨北農業協同組合に補助金を交付する。農家への配分事務は梨北農業協同組合が行う。
事業の対象	梨北農業協同組合が畜産農家の家畜排せつ物を原料として製造販売した家畜排せつ物肥料を購入したもののうち下記のすべてに該当する者 (1)本市に住所を有する者 (2)同一年度内に家畜排せつ物肥料を480キログラム(30袋)以上購入した者 (3)市税等を滞納していない者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	1,651	1,502	1,612
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	1,651	1,502	1,612
B	担当職員数(職員E) (人)	0.15	0.15	0.15
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,029	1,007	986
D	総事業費(A+C) (千円)	2,680	2,509	2,598
主な事業費用の説明	有機農産物の栽培推進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進するため、家畜排せつ物肥料を購入した者に対し補助金を交付する。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 利用者数	補助金交付対象者数(人)	199	161	164
	2 購入金額	家畜排せつ物肥料の購入金額(円)	7,083,481	6,376,580	6,855,485
	3 補助金額	家畜排せつ物肥料購入費補助額(円)	1,651,000	1,502,000	1,612,000
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	利用者数は、利用状況を図るうえで指標として妥当である。			
	2	購入金額の4分の1を補助しているため、妥当である。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	利用者数対前年増減率 (今年度利用者数/前年度利用者数) - 1	6.4%	▲19.1%	1.9%
	2	利用者1人当たりの購入金額	35,595	39,606	41,802
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	利用者増減率は、令和元年度に減少したが、令和2年度には若干改善した。			
	2	1人当たりの購入金額は増加しており利用者促進に一定の効果がある。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どのような形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 平成19年から長期間に渡り行ってきたこともあり、初期の目的を達成したと判断。令和2年度に事業を廃止することとした。			
過去の改善経過	改善の経過			
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 — <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	梨北農業協同組合との役割分担について、必要に応じて協議し効率効果的な手法を検討し、農業を支援する。 補助対象者の増加に向け、梨北農業協同組合と協力し、周知を図るとともに、補助割合の見直しも含め検討していく。 また、購入者に対し市が補助していることを全面に出せる周知方法を検討する。 有機農業は化学肥料や農薬を使用せず、遺伝子組換え技術を使用しないことを基本として、環境への負荷をできる限り低減する農業生産の方法を用いる農業であり、今後も必要な施策である。			
課長所見	令和2年度に事業廃止となったが、農作物の有機栽培の促進及び家畜排せつ物のリサイクルをより一層促進するため効果はあったと考える。			